

平成三十一年度 中学校入学試験問題

国語(第一回)

【受験上の注意】

- 一、受験番号、氏名は必ず記入してください。
- 二、解答はすべて解答用紙に記入してください。
- 三、用紙は使いやすいように折ってもかまいませんが、破らないようにしてください。
- 四、解答用紙、問題用紙とも持ち帰らないでください。
- 五、教室を出る時は、解答用紙を裏にして、その上に問題用紙を置いてください。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えはすべて解答用紙に書きなさい。)

一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、表記を改めてあるところがあります。)

秋から、冬になった。

十二月になっても、実音のジョギングは続いていた。

俺が畑に出ない日の朝も、汗だくになった実音が「お母さん、おなかすいたー」と言つて、母屋おむやに入つてくる。最近では、さすがに飽きもあるのか、コーンフレークの出番はかなり減っている様子だった。

朝、美貴子さんに起こされる段階では、「まだ眠い」と渋っていることもよくあるが、そんな調子でふらふら着替えて寝ぼけ^①で出かけていっても、走つて帰つてくると、すっかり目が覚めたすつきりとした顔をしている。最近では、俺も近所から、「お孫さん、走つてるね」とか、「この間、すれ違つたら挨拶あいさつしてくれた」と言われることが増えていた。

俺も俺で、竹とんぼの授業以来、実音のクラスメートたちから、通学路などで会えば「あ、お^①師匠さま」とか「実音ちゃんのおじいちゃん」と呼び止められ、挨拶あいさつされることが増えていた。

そんな折り、実音からまたお誕生会の話題を聞いた。^②今度はきちんと実音も招待されるらしい。

お誕生日を迎えるのは、クラスの委員長であるマナカちゃんだ。竹とん

ぼの授業でも、1セツキヨク的に俺を「お師匠さま」と慕つてくれたあの子だ。マナカちゃんは年末の生まれらしく、二期期が終わつた後、冬休み中にお誕生会を開くらしい。

お誕生会の招待状を渡す時、マナカちゃんは実音に「実音ちゃんのおうち、おじいちゃんかつこいいよね」と言つていたそうだ。^③美貴子さんに後から、「おじいちゃんのおかげかもしれません」とお礼を言われた。

お誕生会に招待されることが決まつてからの実音は嬉し^{うれ}そうで、「何をプレゼントしようかな」と美貴子さんに相談していた。美貴子さんも美貴子さんと、「^④じゃあ、ババロアを作つてあげるから、プレゼントと一緒にそれも持つてつたら？」と話していた。

前に、別の子のお誕生会に呼ばれなかった、と泣いていたのを知っている俺は、内心、それでいいのか? という気持ちだった。

今度のお誕生会だつて、おそらくクラスの全員が呼ばれるというわけではないだろう。三人だけ呼ばれない、と大泣きする女の子が、どこかの家で出ているかもしれないのに、自分が呼ばれるならそれでいいのか。

そんなふうにいるながら、しかし、実音たちが嬉し^{うれ}そうなところにA水みづを差す^さのも躊躇ためらわれて、さすがに口には出さずにいると、読んでいた県内新聞に気になる投稿を見つけた。

それは、四十代の男性からの投稿で、息子が最近呼ばれた、十二月のクリスマス会に関するものだった。見出しには、「子供のプレゼント交換にもの申す」とある。

『先日、小学生の息子が、友達の家でやるという、少し早いクリスマス会に呼ばれました。プレゼント交換があるということで、そのためのお小遣いをもらうため、食器洗いやイ雑巾がけなど、家の手伝いを頑張っていました。』

当日、息子が買っていったのは、鉛筆とノートのセットでした。文具店でプレゼント用にウ包装してもらいました。

そして、クリスマス会当日、息子は泣きながら、自分のプレゼントを持って帰ってきました。プレゼント交換で息子のものがあつた子が、「こんなダサイのいらない」と言ったそうです。そして息子にあつた、別の子のプレゼントと交換してほしいと言い、息子はそのまま、自分の持っていったプレゼントを持って帰ってきたのです。』

読んでいて、胸にすつと冷たいものを流し込まれた気分になる。

子供たちのクリスマス会。プレゼント交換。

ちょうど、ジヨギングを終えて「ただいま」と食卓についた実音に、

俺はその記事を渡した。

「読んでみる」

実音がぎよんとした顔のまま、新聞に目を落とす。

読み始めてすぐ、実音の顔色が変わった。黙ったまま、新聞記事をしっ

と見る。少しして、俯うつむいたまま、実音の口から、声が洩もれた。

I
それは、とても短い声だったので、咄とつさ嗟さに聞き取れなかった。聞き間違いかと思つて「あ？」と答えると、実音がゆつくりと顔を上げた。その顔が、思つてもみないほど、²ケワけわしく、固こまつていた。

実音が俺を見る。

II
「何が言いたいつてわけじゃないけど、おじいちゃんは、子供のうちからそんなプレゼントを交換したり、招待したりしなかったり、そういうのは感心しないと思つて」

III
実音が叫んだ。その顔が青白い。

「今何が流行はやつてるか、私はよくわかつてるし、マナカちゃんが好きだつて言つてたキャラクターのペンケースを、お母さんと買いに行くから、絶対大丈夫なの！ おじいちゃんにはわからないかもしれないけど、絶対、^⑤それで外はずすなんてことあり得ないもん」

IV
「プレゼントを気に入るかどうかってことじゃないんだよ」

途中から、実音は涙目になっていた。何も泣くことはないだろうと思つのに、そのまま、わーん、と声を上げて泣き出す。

台所から、「ちよつとどうしたの？」と美貴子さんがやってくると、助け

を求めるように美貴子さんのエプロンに顔を埋める。

その時、実音が言った。

「⑥どうせ、おじいちゃんは、乃々果ちゃんや陸久くんの方が、好きなくせに」

B 度肝を抜がれる。

「は？」と声が出たが、実音は止まらない。

「あの子たちの方が、私よりかわいいんでしょう。一緒に住んでも、私は、どうせ、おじいちゃんが思うようないい子じゃないから、嫌いなんでしよう」

「嫌いなわけあるか」

身内だし、孫なのだから、嫌いも好きもないだろう。

そう思うのに、内心で俺は——微かに、痛いところを突かれたような気になっていた。実音に言われて、初めて、そんなことを考えた。

——乃々果ちゃんや陸久くんの方が、好きなくせに。

実音もあの子たちも、同じ、大事な孫だ。そう思ってきた。確かにずっと離れていた実音より、乃々果や陸久の方が小さい頃から近くで見してきたし、会う回数も多かった。かわいくて仕方ない。

しかしまさか、それを、実音にそんなふうに思われていたなんて。

言い返せない俺をそのままに、実音が泣く声が、さらに大きく、居間に響き渡る。美貴子さんが「C おろおろ」と「実音？ どうしたの？」と聞く声にも、実音は顔を上げなかった。

問一、——線部1・2のカタカナを漢字に直しなさい。

問二、——線部ア～ウの漢字の読み方をひらがなで答えなさい。

問三、……線部A～Cの語句の文中での意味として、最も適切なものを次のア～オの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

A 水を差す

ア、賛同する

イ、批判する

ウ、邪魔をする

エ、付け加える

オ、中断する

B 度肝を抜かれる

ア、驚かされる

イ、びくびくする

ウ、がっかりする

エ、核心に触れる

オ、非難される

C おろおろと

ア、遠慮がちに

イ、びくびくしながら

ウ、不安な様子で

エ、どうしたらよいかわからず

オ、しらじらしく

問四、——線部①「師匠」とありますが、この語句の対義語を漢字二字で

答えなさい。

問五、——線部②「今度はきちんと実音も招待されるらしい」とあります

が、以前、実音にはどのようなことが起きたのですか。文中の語句を用いてわかりやすく説明しなさい。

問六、——線部③「美貴子さんに後から、『おじいちゃんのおかげかもしれ

ません』とお礼を言われた」とありますが、「おじいちゃんのおかげ」に相当するものとして、最も適切なものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア、学校で竹とんぼの授業を行った時に実音の友達からの反響がよかったこと。

イ、実音が毎朝行うランニングの時間に合わせて起きてつきあってあげていること。

ウ、普段から実音の友達に意欲的に話しかけることを心がけて仲良く関わったこと。

エ、実音が落ち込んでいた時に親身になって相談に乗り励ましていたこと。

問七、——線部④「じゃあ、ババロアを作ってあげるから、プレゼントと

一緒にそれも持ってつたら？」とありますが、この時の「美貴子さん」の気持ちとして、最も適切なものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア、娘の喜ぶ姿をよそに、油断しないようにしようと気を張っている。

イ、娘の喜ぶ姿に安心しつつも、不安な点を解消しようとしている。

ウ、娘の喜ぶ姿を見て自身も嬉しくなり、心が弾んでいる。

エ、娘の喜ぶ姿を見て、母として祖父に対抗心を燃やしている。

問八、文中の 内の県内新聞の投稿の要点と

して、最も適切なものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア、子ども間のコミュニケーションの不足。

イ、プレゼント交換に必要なセンス。

ウ、家のお手伝いをする重要性。

エ、プレゼント交換に対する問題提起。

問九、文中の空らん I IV に入るものとして、最も適切なものを

次のア～エの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア、「もうやだ。意味わかんない。せつかく呼ばれたのに」

イ、「大丈夫だよ！」

ウ、「おじいちゃん、何が言いたいのか？」

エ、「……で？」

問十、——線部⑤「それ」の指す内容を文中より三十文字以内で探し、その初めと終わりの三字を抜き出しなさい。(句読点や記号を含む場合は、一字に数えます)

問十一、——線部⑥「どうせ、おじいちゃんは、乃々果ちゃんや陸久くんの方が、好きなくせに」とありますが、この時の「実音」の気持ちの説明として、最も適切なものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア、おじいちゃんが母親のことを信用していないことは知っていたが、自分のことまでも信用していないことが分かり悲しんでいる。

イ、おじいちゃんが自分にとって喜ばしいことを共感するどころか、逆に自分を害することを言うので腹を立てている。

ウ、おじいちゃんが乃々果ちゃんや陸久くんを自分に知られないようにこっそりかわいがっているのではないかと疑っている。

エ、おじいちゃんにとって一番かわいい存在とは誰なのか、この際はつきりさせようとむきになっている。

二、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この頃の天気予報は、「雨になるおそれがあるので、傘を持ってお出かけになる方がいいでしょう」などと、天気予報以外のこともいいいます。

天気予報は雨、晴れの情報だけでいいのに、「服を一枚持って出かけましょう」といったりします。サビスのつもりでいっているのだと思いますが、①これは、ほんとうは自分で考えることです。

予報士に最後にいわれた、「一枚多めに着ていきましょう」という言葉がテレビを見ている人の頭に残って、そのとおりにしたら「暑かった」なんということがあると、文句をいったりします。でも、一枚余計に着ていくといくまいと、それはこちらの責任です。そもそも「予報」なんですから、、という大前提があります。テレビを見ても、聞いても、自分で考えるという姿勢が大切です。

腰が痛いときはこういう運動をしたらいい、健康にはこんな食べものもいいらしい、という人がいるので、「どうして?」と聞くと、よく「テレビでそういつていた」「人がこういつていた」などと疑いもせずに答えることがあります。ただ何となく、だれかがいつていたからいい、と思ってしまう。テレビや新聞でいつていることをそのまま受けとり、自分で考えていないことは、日常的によくあることです。

②ほかに「考えなくてもすむようになっている」と「た、どんな」ことがあるのか、ぜひ、考えてみてほしいと思います。

「おほれる者は薬をもつかむ」というのは、じつにいいことわざだと思っています。このことわざは、役に立たないものでも、困っているときはすがつてしまうという意味がありますが、世の中のほとんどのものごとが、このことわざにあてはまります。

ものを売りつけようとする人は、この気持ちを利用してきます。つまり、薬を売れば「元手」がかからず、もうかるので、③薬を売りたい。そして、薬を買ってもらうためには、まず、おほれさせなくちゃいけない。そして、つかんだ人は、それを薬とは思っていない。これは、振りかえってみると、とてもよくあることです。

たとえば、「若見え」という言葉をわたしは疑っています。

「このクリームで十歳、若く見えます」というような「マーシャル」があります。「若く見えてどうするんだろう、年齢相応の美しさを目標にすればいいのに」と思いますが、まず「若く見える方がいい」と思わせて、消費者をおぼれさせ、薬をつかみたい気持ちにさせています。わたしたちはそれに気がついていません。

小じわをのばすクリームや、やせる薬など、そんなに早く効いたらこわくないだろうか?と思うほど、みるみるうちに効くというのですから、④わたしは警戒します。実際に、美白効果とうたって、白いまだらができる事件がありました。

「マーシャル」の短い時間の中でいいことをたくさんいおうとする。

そうなりやすいのか、棒グラフなどの「トウケイグラフ」を持ちだして、説得しようとしている場面は、わたしにはかえって安易に見えます。グラフには⑤科学的な装いがありますので、ますます信用できません。グラフは科学の所産ですが、それをよく見て内容を納得するためには時間がかかります。ところが、コマースヤルのグラフはすぐに消えてしまいます。

わたしは、よく「長生きの秘訣は何ですか」とたずねられますが、特に食事に気を遣っているわけでも、健康に良いといわれることをやっているわけでもなく、好きなようにやってこの年になっているので、健康食品や、健康グッズなども、わたしは疑っています。

何となく、だれかから聞いた情報をAのみにしていないか、そう思うことが大切なことであるように誘導されてしまっていないかどうか、改めて考えてみてほしいと思います。

⑥わたしは、何もかも疑います。子どもの頃から疑っていました。神さまが罰を与えるとか、血液型でその人の性格がわかるとか、手相で、ウンメイをいいあてるとか。わたしたちが一番知りたい明日のことや、一寸先のイ関について、想像することはできません、それを科学的に説明することはできないと思います、それを知る超能力のある人の存在を疑いました。

戦時中、「写真週報」という一種の雑誌に載っていたと、先生が話してくれたことで、いまも覚えています。ピラミッドの中に道がついていて、それは謎の地点でへこんでいたり、曲がっていたり、変化しながら前に進

んでいるというのです。その変化のタイミングは、なんと、世界史を予言するかのよう、史的な事件の起きる時期とピタリあてはまるというのです。そして、太平洋戦争にあてはめて、最後の事件が起こったところから、次に変化するところまでを測ってみると、あと四年でこの戦争（太平洋戦争）は終わるといふのでした。

わたしは信じなかつたけれど、この戦争があと四年で終わる、という話は人を信じさせる魔力がありました。「⑦待望」と「予言」がひとつになったとき、人々は理性を失って、何かにすがるように注流を信じようとしたのです。

のちにピラミッドの中に入ったことがありますが、入り口から王のハカまでは直線で、曲がってはいませんでした。

「よって、件の如し」という注成句を知っている人は少なくなりました。「件」とは、漢字の形のとおり、顔が人間で、体が牛の姿をした怪物のこと、その怪物が生まれると、一回だけ予言をするといわれていました。

戦争の末期には、その不思議な牛が、岡山県のどこかで生まれ、人間の声で、「戦争はあと四年で終わる」といい残して死んだのだそうな、という流言を信じた人がありました。これも、戦争が終わってほしいという「待望」が「理性」を失わせたのです。

いまとなつては、「我思う、ゆえに我あり」といった、フランスの哲学者デカルト（一五九六―一六五〇）の『方法序説』のB受け売りのようにな

ってしまいました。わたしは何でも疑う子どもでした(おいなりさんのキツネの前に油揚げを置くと、キツネが食べてなくなる、などと聞いても、キツネなんかいないのに、)と思っていました。

わたしはむかし、『方法序説』を落合太郎の訳で読みましたが、これほど、わたしの心を動かした本もありませんでした。

デカルトは本という本を読みました。歴史や科学や数学はもちろん、天文学や占星術の本まで読み、その結果、「我思う、ゆえに我あり」という考えに行きつきます。

デカルトは「すべてのものを一応疑う。確実だと思つものに出会うまで、すべてのものを疑う。疑つて疑つて、信じない。しかし、疑う自分がある」ということだけはほんとうだ、というほかなかつた、という出発点に立ちました。

「我思う、ゆえに我あり」といったデカルトではないけれど、少なくとも、一度は疑つてみることです。そしてそれは、「自分で考える」ということにつながっていきます。まずは、夕食の支度も、着るものも、傘を持つかどうかということも、みんな自分で考えたらいいと思つています。

(安野光雅 『かんがえる子ども』 福音館書店)

※流言…根拠のない風説。うわさ。

※成句…古人の作った詩文の句で、よく知られているもの。

問一、——線1〜3のカタカナを漢字に直しなさい。

問二、——線ア・イの漢字の読み方をひらがなで答えなさい。

問三、……線A・Bの語句の文中での意味として、最も適切なものを次の

ア〜オの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

A うのみ

ア、物事の全体をまんべんなく見渡して採用すること

イ、間違つたところはないかと注意深く観察すること

ウ、何ともすぐに信じずに疑いの気持ちをもつこと

エ、人の言うことをよく理解しないまま受け入れること

オ、人から聞いたことを正しい情報のように他の人に話すこと

B 受け売り

ア、言われたことを信じないで、疑問に思ふこと

イ、他人の意見をそのまま自分の意見のように述べること

ウ、理由もなく、深く信じること

エ、自分は別の考えをもつていても他人の意見に従うこと

オ、何でもないことでも疑わしく思ふこと

問四、——線①「これ」とは、具体的にどのようなことですか。文中の語句を用いて、二十字以内で答えなさい。(句読点や記号を含む場合は、一字に数えます)

問五、にはどのような言葉が入りますか。最も適切なものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア、はずしてはならない

イ、必ず事実を言うものだ

ウ、ほんとうのことはわからない

エ、人にとって役に立つものでなければならない

問六、——線部②「ほかにも『考えなくてもすむようになっていく』とありますが、自分の身の回りで『考えなくてもすむようになっていく』と感ずることについて、本文以外の例を挙げなさい。

問七、——線③「菓を売りたい」とありますが、これはこのあとのクリー

ムの例に当てはめるとどのような意味になりますか。次の文の

にあてはまるように考えて書きなさい。

消費者の1という気持ちを利用して、2かどうか疑わしいクリームを買わせたい。

問八、——線④「わたしは警戒します」とありますが、筆者は何を警戒するのですか。最も適切なものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア、人体に害があるのではないかということ。

イ、とても高価なものではないかということ。

ウ、クリームの効果で若く見られはしないかということ。

エ、人が年相応の美しさを目標としなくなるのではないかということ。

問九、——線⑤「科学的な装い」とありますが、グラフのもつ科学的な装いの説明として最も適切なものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア、コマースシャルの中でグラフを用いると、実際は消費者がグラフをじっくりと見る時間はないが、もつともらしく見るといふこと。

イ、コマースシャルの中でグラフを用いると、安易に見えるが、実際はい

いたいことをたくさんいおうとする際に効果的だということ。

ウ、コマーシャルの中でグラフを用いると、科学的に正しいように見えるが、実際は消費者にとってはまったく信用できないということ。

エ、コマーシャルの中でグラフを用いると、情報量を少なくしているように見えるが、実際は情報量が多すぎてわかりにくいということ。

問十、——線⑥「わたしは、何もかも疑います」とありますが、疑うことはどのようなことにつながると筆者は考えていますか。文中より探し、十三字で抜き出さない。(句読点や記号を含む場合は、一字に数えます)

問十一、——線⑦「待望」とは、具体的にどのようなことですか。「く」と思うこと。「」に続く形で文中より探し、十字以内で抜き出さない。(句読点や記号を含む場合は、一字に数えます)

